

12月1日は「世界エイズデー」

今年のキャンペーンテーマは、

「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。」

詳しくは
こちら ▶



U=U を知っていますか？

治療により、検査をしても見つからないくらいにまで血液中のウイルス量が抑えられている状態が6か月以上続いているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することはありません。このことを、

Undetectable(検出限界値未満)=Untransmittable(HIV感染しない)

略して「U=U」と呼んでいます。

HIVに感染すると

	約2～6週間後	約6～8週間以降	数年～10数年後
HIV感染	感染初期	無症候期	エイズ発症
感染した体液(血液、精液、膣分泌液、母乳等)が体の中に入ると感染する。	風邪に似た症状が一時的に出る。	症状がなくなるが免疫力が低下する。	免疫力が極度に低下し様々な病気にかかりやすくなる。

ほとんどが性行為による感染です。
無症状のことが多く、感染に気づかず周りにうつしてしまうことがあります。
早期発見・早期治療が何よりも大切です。



HIV/エイズの予防方法

- ・性行為の際は、コンドームを正しく使用しましょう。
 - ・相手の精液や膣分泌液、血液等が自分の粘膜に付かないよう注意しましょう。
- ★HIVはとても感染力の弱いウイルスのため、性行為以外の日常生活で感染することはありません。

検査

早期発見・早期治療で、エイズ発症を防ぐことができます。まずは血液検査を受けましょう！

●医療機関での検査

症状のある方は医療機関へ！

- ・陽性の場合、すぐに治療開始できる
- ・幅広い性感染症の検査に対応可能
- ・男性は泌尿器科、女性は産婦人科で検査可能



●保健所での検査

症状はないが検査をしたい方に！

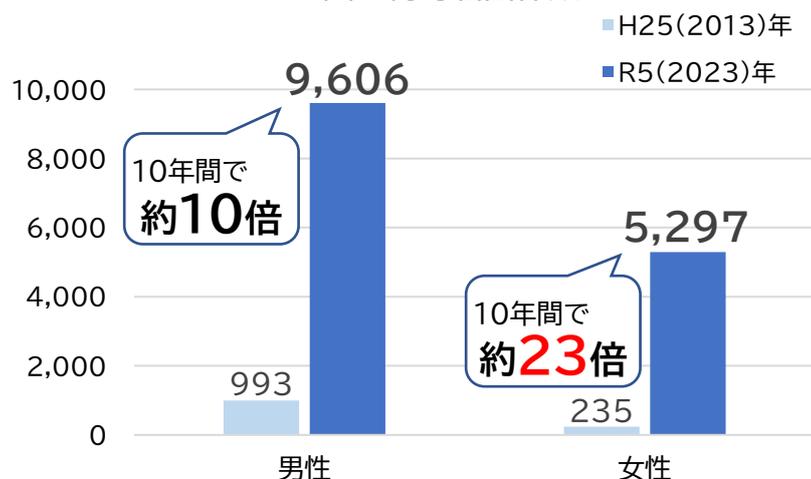
- ・全国の保健所で無料・匿名で検査可能
- ・福島市保健所では、毎週木曜日の午前
に HIV・梅毒検査を実施しています！

予約は
こちら ▶



梅毒の患者が増加しています！

全国の梅毒届出件数

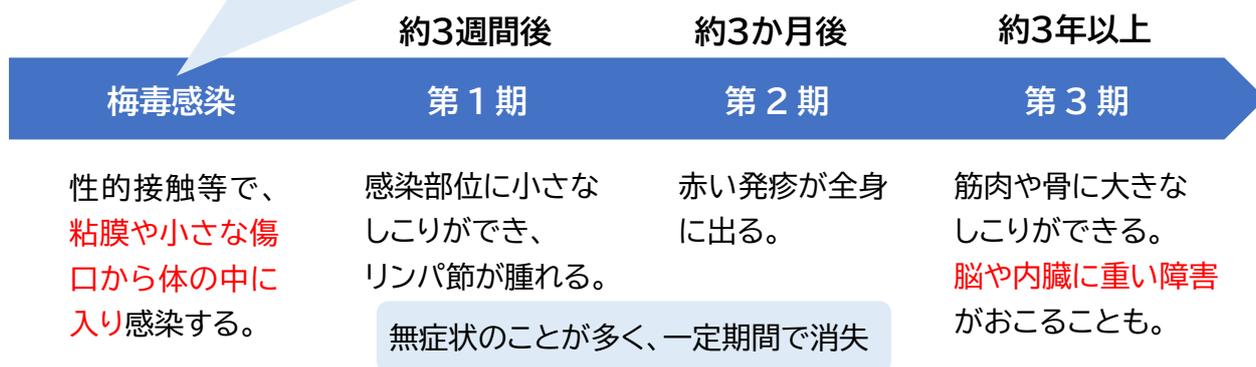


参考:国立感染症研究所 感染症法に基づく梅毒の届け出状況/日本の梅毒症例の動向について

全国的に梅毒の患者が増加しています。R5年は、感染症法に基づく調査が始まったH11年以降、最も多い報告数となりました。特に20代女性で急増しています。また、妊婦からお腹の赤ちゃんに母子感染する「先天梅毒」と診断された子どもの数も、最も多い報告数となっています。

福島市では例年10件前後の梅毒の報告がありますが、R5年は27件でした。また、R6年10月末時点で11件の報告があります。

【症状】 妊娠中に感染すると、お腹の赤ちゃんの死産や早産、先天梅毒の原因になります。



【予防方法】 性行為の際は、コンドームを正しく使用しましょう。ただし、キスでも感染するため、皮膚や粘膜に気になる症状がある場合は性的接触を控え、早めに医療機関を受診しましょう！梅毒に感染してしまうと、HIVにも感染しやすくなってしまいます。

【検査】 早期に治療を始めれば、飲み薬で治すことができます。「もしかして？」と思ったら、自分やパートナー、お腹の赤ちゃんのためにも、迷わず検査を受けましょう。詳細は表面をご覧ください。

年末年始の旅行を安全に楽しむために！

今年の年末年始は大型連休となり、海外旅行を予定されている方も多いと思います。海外は、日本に存在しない感染症や日本より高い頻度で発生している感染症があります。

楽しい海外旅行にするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身につけましょう。

〈厚生労働省 FORTH〉
海外へ渡航される皆様へ！

旅行の前に確認しておきましょう！

